

中山間地域等直接支払制度で 集落活性化

平成22年度から第3期が行われている中山間地域直接支払制度は、農業生産の不利な地域を直接的に支援し、耕作放棄地の発生を防止することにより、水源のかん養や国土の保全等を図ることを目的として事業を展開しています。

通算で15年目を迎えた今年の事業を紹介いたします。

なお、今年度が第3期の最終年になります。

◆平成26年度の交付金の概要

集落名	団地数	交付対象面積 (㎡)	交付金 (円)	備 考
干 蒲	9団地	195,844	1,662,900	通常単価
湯 原	12団地	458,660	3,669,280	通常単価
峠 田	8団地	200,397	2,439,284	通常単価
滑 津	14団地	386,872	3,780,383	通常単価+規模拡大加算
関	13団地	530,804	4,266,553	通常単価+規模拡大加算
横 川	13団地	379,659	4,168,454	通常単価
計	69団地	2,152,236	19,986,854	国1/2、県1/4、町1/4の負担

★交付金の使途

交付金は、各集落の協定に基づき、総額の1/2以上〔関地区は10割〕を共同取組活動（水路、農道などの維持管理、農地の多面的機能を増進する活動や、集落の活性化に関する活動）に活用されます。

残りの交付金は、農地の耕作者に面積に応じて支払われます。



共同による用水路の泥上げ作業（峠田集落）



先進地の視察研修も行っています

ゆきむろ 雪室完成（七ヶ宿町農林産物保管庫）

雪を約800㎡貯蔵し、旬の市七ヶ宿の隣地に建設を進めていた雪室が4月23日、オープンしました。

県内初めての施設ともあり、お客様からも「どんな施設なの？」「夏まで中の雪が溶けないの？」「鮮度を保たせるのは大変だね」等、さまざまな声が聞こえました。

自然リサイクルエネルギーとして最大限活用するもので、高湿度環境を保つ雪室では米や野菜などを寝かせることで、みずみずしさを保つだけではなく、一定の温度でゆっくり熟成させることによりうま味成分が増し、雑味のとれたまろやかな味わいになると言われています。

また、販売用だけではなく町内のみなさんが自家用とする米や野菜についても、雪室を利用することができます。詳細が決まりましたらまたお知らせしますので、ぜひ雪室を活用し味の違いを確かめてみてはいかがでしょうか。

●お問い合わせ先 雪室管理組合 ☎38-1050（旬の市七ヶ宿内）



道の駅七ヶ宿リニューアルオープン （七ヶ宿町総合交流促進施設）

七ヶ宿ダム公園に農山村活性化プロジェクト支援事業（国予算）を活用し建設していた道の駅が完成し、4月23日にオープン式が行われました。

施設内には、農林産物直売所・レストラン・農産物加工施設・道路情報施設等ゆったり休める施設のほか、大型車両も楽に駐車できるスペースを備えた駐車場（普通車345台・大型車28台）も完備しました。

当日は、県内10カ所の道の駅の出店があり、登米市の「はっと汁」が300食無料で提供され、あっという間に完食となりました。

これから町民と都市住民との交流の場として、また、災害時の防災拠点としての機能が期待されます。

